

😊家読（うちどく）はじめてみませんか？😊

【小学生低学年向け】

♣保護者の皆様へ♣

第4号（令和6年4月発行）芦別市立図書館



◆春は新しいことを始めるチャンス◆

春は入学や進級の季節。子どもたちも新学期を迎えて、張り切っています。「新しいことに挑戦」とか、「今年はこれを頑張ろう」と考えているかもしれません。子どもが考えていることが分ったら、それを応援してあげられると良いですね。「子どもに色々な体験をさせてあげたい」そう思ったら、新しいことにチャレンジするきっかけづくりをしてみたいかがでしょう。何に興味を持つのかは、やってみないとわかりません。小学校に届いた大谷選手からのグローブに興味をもっていたら、野球のテレビ番組や本を見る、キャッチボールをしてみるなど方法は色々とありそうです。テレビや本は、新しいことを始めるきっかけづくりにピッタリです。



「興味を持つきっかけづくりをしましょう！」



★ 教科書を見てみよう ★

新しい教科書をもって、とても嬉しそうにいませんか？開いて見ていたら、いっしょに見てあげてください。国語の教科書には、絵本や児童書から選ばれた作品が多く使われています。教科書では、作品の一部だけが掲載されている場合が多く、また原作と絵が違っていることがあります。良い作品が選ばれているので、ぜひ、原作を読んでみてください。

★ おはなしを教えて ★

本の好きな子は、お話が上手です。本をたくさん読んでいると、読解力が付き、本のストーリー（あらすじ）を上手にお話できるようになります。本を読んだら、「どんなお話だったか教えて」と声をかけてみてはいかがですか？「おもしろそうね」の一言で、だんだんと説明が上手になってきますよ。

★ 年齢にあった本の見つけ方 ★

子どもが楽しく本を読むには、年齢にあった本を選ぶことが大事です。選ぶ時の、簡単なポイントを紹介します。

- ① 登場人物が子どもの年齢に近い本書かれている内容に自分の気持ちを重ねることができ、楽しく読めます。
- ② 文字の大きさ
小さい子ほど、大きな文字になります。教科書の文字の大きさを参考にしてください。
- ③ 漢字とフリガナ
漢字が読めないと楽しさが半減します。フリガナ付きだと、少し難しくても楽しく読めます。
- ④ 字体
字体で作品のイメージを伝えるなど、最近の本は読み手が興味をもてるように、色々な工夫がされています。良い作品でも、明朝体で書かれている本は、手に取ってもらえない傾向があります。



小学校低学年向け おすすめ本のリスト

1年生におすすめの本

えんそくはたのしい…

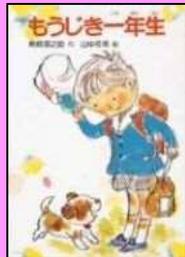


「どろぼうがっこう」

作・絵：かこさとし

出版社：偕成社

がっこうにいきたい



「もうじき1年生」

作：長崎源之助 絵：山中冬見

出版社：岩崎書店

新学期におすすめ

はるは、1ねんせいになったり、がくねんが
ひとつあがり、とつてもたのしみ。でもちょ
っとしんぱい…。ほんをよむと、みんなもお
なじってわかります。

きょうはなにをしようかな？ともだちいっ
ぱいつくって、たのしいがっこうにしよう！

2年生におすすめの本

すてきなプレゼント



「わすれられないおくりもの」

作・絵：スーザン・バーレイ

出版社：評論社

できない…



「しゅくだい さかあがり」

作：福田岩緒

出版社：PHP 研究所

がっこうへいこう！

「となりのせきのますだくん」

作・絵：武田美穂（ポプラ社）

「ねずみのでんしゃ」

作：山下明生／絵：岩村和朗

（ひさかたチャイルド）

「おばけ、がっこうへいく」

作・絵：ジャック・デュケノワ

（ほるぷ出版）

「ランドセルがやってきた」

作：中川ひろたか／絵：村上康成

（徳間書店）

「がまんだがまんだ うんちっち」

作・絵：梅田俊作・佳子・海緒

（岩崎書店）

「くぬぎのもりの りすのがっこう」

作・絵：ふくざわゆみこ

（アリス館）

「いつもちこくのおとこのこ」

作・絵：ジョン・バーニングム

（あかね書房）

「がっこうたんけん

しょうがっこう だいずかん」

編・著：WILL こども知育研究所

（金の星社）



3年生におすすめの本

一番大事なこと



「あなたをずっとあいしてる」

作・絵：宮西たつや

出版社：ポプラ社

はんけつのけっかは？



「ライオンのしごと
どうぶつさいばん」

作：竹田津実 絵：あべ弘士

出版社：偕成社